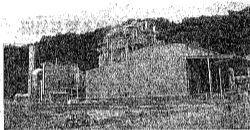


鶏ふんでケツコーな電力

工場に供給、灰は肥料

JA高崎経済連が
出資する高崎興産
が、昨年四月に高崎
興高崎町に建設した
鶏ふんボイラー発電
施設が営業リサイク
ルのモデルとして注
目をされている。燃料
灰は肥料で、電力は
隣接するJA高崎経済
連に供給する。限外で
出る鶏ふんの半分を
処理する能力を持
ち、年間約二万トンの
処理能力を有する。

JA高崎経済連 年間10万トンの処理へ



鶏ふんを焼却するボイラー施設（高崎興高崎町で）

なごが禁止されるため、
鶏糞の焼却の必要が求め
られていた。

同社は国や県から補助
を受け、事業投資二十二
億四千万円をかけてボイ
ラー施設を整備し、四月
から稼働した。一日に三
百トンの年間十万トンの鶏ふ
ん処理が可能だ。

鶏ふんを二〇〇度で
焼却し、その熱を発電す
る。発電量は二億四千万
ワットで、隣接する
JA高崎経済連に供給す
る。現在には工場に必要
な電力の六割を賄ってい
る。工場が休みの日は電
力を会社へ売却する。

JA高崎経済連は、
鶏糞の焼却灰を肥料とし
て、JA高崎経済連の
JA高崎経済連に供給す
る。JA高崎経済連は、
鶏糞の焼却灰を肥料とし
て、JA高崎経済連の
JA高崎経済連に供給す
る。

後のは灰は農用リシヤカ
リウムを含むため、肥料
として販売する予定。同
社は「鶏ふん処理を引
き替えることで、環境問題に
貢献したい」と話す。

JA高崎経済連は、
鶏糞の焼却灰を肥料とし
て、JA高崎経済連の
JA高崎経済連に供給す
る。JA高崎経済連は、
鶏糞の焼却灰を肥料とし
て、JA高崎経済連の
JA高崎経済連に供給す
る。

JA高崎経済連は、
鶏糞の焼却灰を肥料とし
て、JA高崎経済連の
JA高崎経済連に供給す
る。JA高崎経済連は、
鶏糞の焼却灰を肥料とし
て、JA高崎経済連の
JA高崎経済連に供給す
る。

JA高崎経済連は、
鶏糞の焼却灰を肥料とし
て、JA高崎経済連の
JA高崎経済連に供給す
る。JA高崎経済連は、
鶏糞の焼却灰を肥料とし
て、JA高崎経済連の
JA高崎経済連に供給す
る。